

平成30年度全国中学校体育大会 第39回全国中学校アイスホッケー大会 大会要項

1 目的

本大会は、中学校教育の一環として、中学校生徒に広くアイスホッケー競技実践の機会を与え、技能の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚をはかり、心身ともに健康な中学校生徒を育成するとともに、中学校生徒相互の親睦をはかるものである。

2 主催

(公財)日本中学校体育連盟 (公財)日本アイスホッケー連盟 北海道教育委員会
帯広市教育委員会

3 主管

北海道中学校体育連盟 (一財)北海道アイスホッケー連盟 全十勝中学校体育連盟
帯広アイスホッケー連盟

4 後援

スポーツ庁 全日本中学校長会 全国都道府県教育長協議会 全国市町村教育委員会連合会
(公社)日本PTA全国協議会 日本私立中学高等学校連合会 NHK 全国新聞社事業協議会
毎日新聞社 北海道 帯広市 北海道中学校長会 帯広市中学校長会 (公財)北海道体育協会
帯広市体育連盟 (一財)帯広市文化スポーツ振興財団 北海道新聞社

5 会期

平成31年1月24日(木)～1月27日(日)

6 会場

開会式会場	『帯広の森体育館』 〒080-0856 北海道帯広市南町南7-56-7	☎ 0155-48-8912
競技会場	『帯広の森アイスアリーナ・第二アイスアリーナ』 〒080-0856 北海道帯広市南町南7-56-7	☎ 0155-48-6256
表彰式・閉会式会場	『帯広の森アイスアリーナ』 〒080-0856 北海道帯広市南町南7-56-7	☎ 0155-48-6256

7 参加資格

- (1) 参加者は、都道府県中学校体育連盟加盟の中学校に在籍する生徒で、校長および都道府県中学校体育連盟会長が参加を認めた者とする。
- (2) 年齢は、平成15年4月2日以降に生まれた者に限る。
- (3) 前項以外の生徒が参加を希望する場合は、平成30年6月30日までに、都道府県中学校体育連盟を通して(公財)日本中学校体育連盟に申し出ること。
- (4) 参加資格の特例
 - ア 学校教育法第134条の各種学校(1条校以外)に在籍し、都道府県中学校体育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。
 - イ 参加を希望する各種学校は以下の条件を具備すること。
 - (ア) 全国大会への参加を認める条件
 - ① (公財)日本中学校体育連盟の目的および長年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - ② 生徒の年齢および修業年限が我が国の中学校と一致している単独の学校で構成されていること。
 - ③ 参加を希望する学校にあっては、運動部活動が学校教育活動の一環として、日常継続的に当該校顧問教師の指導のもとに適切に行われていること。
 - (イ) 全国大会に参加した場合に守るべき条件
 - ① 全国大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - ② 全国大会参加に際しては、責任ある当該校校長または教員が生徒を引率すること。また、万一の事故発生に備え、傷害保険に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。

(5) 個人情報の取り扱い(利用目的)

大会主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、(公財)日本中学校体育連盟個人情報保護指針・規程に基づき、取得する個人情報について適正に取り扱う。また、取得した個人情報は、競技大会の資格審査・競技大会運営上必要なプログラム編成及び作成・ホームページ・掲示版・報道発表・記録発表(記録集)等、その他競技運営及び競技に必要な連絡に利用する。大会に参加する選手はこれに同意する。

8 参加料

参加料は参加選手1人につき3,000円とする。

9 引率者・監督

- (1) 引率者・監督は、当該校の校長・教員(非常勤講師は除く)・部活動指導員※1とする。(部活動指導員が引率・監督を務める場合は、所定の参加申込書に必要事項を記入し、大会事務局に提出する。なお、部活動指導員は、他校の引率者及び依頼監督にはなれない。)

※1→ここでいう部活動指導員は、学校教育法施行規則第78条の2に示されている者

- (2) 大会では外部指導者(コーチ)をおくことができる。外部指導者(コーチ)は、出場校の校長が認めた者とし、所定の「外部指導者(コーチ)確認書(校長承諾書)」に必要事項を記入し、参加申込時に大会事務局に提出すること。ただし、当該校以外の中学校教職員は外部指導者(コーチ)にはなれない。また、同一人が複数校の外部指導者(コーチ)にはなれない。
- (3) (公財)日本中学校体育連盟が主催する本大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、部活動指導員、外部指導者(コーチ)、トレーナー等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていないものであることとしている。校長はこの点を確認して、大会申込書を作成する。なお、外部の指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。
- (4) その他、引率者については全国中学校体育大会引率細則による。

10 出場制限

アイスホッケー競技(男子)

- (1) 全国からの出場チームは16チーム以内とする。
 - (2) 各ブロックで予選を経て代表権を得たチームであること。
 - (3) 各都道府県、北海道を除き2チーム以内とする。単独チームを編成できない場合は、全国中学校体育大会複数校合同チーム参加規程に従い参加することができる。(従来の選抜チームも含む)
- ※ 別紙「全国中学校体育大会複数校合同チーム参加規程」参照
- (4) 出場校が16チームに満たない場合は、開催地もしくは開催ブロック1ないし2チームを加えることができる。
 - (5) 合同チームで上記出場資格を満たして参加する生徒は、当該中学校長の許可を得た承認印を必要とする。なお、監督については、参加する生徒の所属するいずれかの学校の校長または教員でなければならない。また、当該中学校長の委嘱を受けた校長または教員でもよい。

【本年度のブロック別出場枠(昨年度の参加チーム数)】

	北海道	東北	関東	北信越	東海以西	計
出場枠(昨年度)	4 (5)	5 (5)	5 (5)	2 (1)	0 (0)	16 (16)

11 競技規則

- (1) 選手申込登録は11名以上25名以内とし、ベンチ入りは11名以上22名以内とする。ベンチ入り内訳はGK2名以内・プレーヤー20名以内とする。
- (2) 1チームの監督、外部指導者(コーチ)、マネージャーとしての申込登録は5名までとし、ベンチに入れる人数は、申込登録した中の3名以内とする。また、各チーム、毎試合ごとにベンチ入りする選手(11名以上22名以内)と監督・外部指導者(コーチ)・マネージャー(3名以内)のオールメンバー表を提出する。
- (3) 外部指導者(コーチ)・マネージャーの登録変更は、申込届出用紙(職印のあるもの)を提出することとする。監督会議での提出を最終変更とし、登録選手の変更は一切認められない。
- (4) ゲーム時は、ヘルメット、フルフェイスマスク、マウスピース、ネックガード(IIHF公認のもの)を着用するものとする。
- (5) ベンチ入りする生徒は危険防止のため、全員ヘルメット、フルフェイスマスクを着用する。他は、IIHF競技規則及びJIIHF競技規則並びに本大会要項による。

12 競技方法

- (1) 競技は、参加チームのトーナメント戦により順位を決定するが、組み合わせは昨年度3位までのチーム、当該都道府県もしくは当該ブロックの代表チームを第3シードまでとし、残りをフリー抽選する。なお、第3位決定戦も行う。
- (2) 全試合、各ピリオドは正味20分とし、インターバルは10分とする。
- (3) 第3ピリオド終了時、同スコアの場合は、製氷無しで3分間のインターミッションの後に5分間の3on3（スケーター3名およびゴールキーパー1名）によるサドンビクトリー方式の延長戦を行う。それでも決しない場合は、直ちに5名によるペナルティショット・シュートアウトにより勝敗を決する。それでも決しない場合は、引き続き両チーム1名ずつのサドンビクトリー方式によるペナルティショット・シュートアウトによって勝敗を決する。

13 表彰

- (1) 優勝チームから第3位チームにメダルと賞状、第4位チームに賞状を授与する。
- (2) 優勝チームには(公財)日本中学校体育連盟より優勝トロフィーを、(公財)日本アイスホッケー連盟より優勝杯(持ち回り)をそれぞれ授与する。
- (3) 優勝チームには文部科学大臣賞を授与する。

14 大会日程

(1) 開閉会式と諸会議

受付	開会式	監督会議	アイスホッケー競技部会	閉会式
1月24日(木) 12:30~13:00	1月24日(木) 13:30	1月24日(木) 14:30	1月24日(木) 15:30	1月27日(日) 14:00
帯広の森体育館 ロビー	帯広の森体育館 第1体育室	帯広の森体育館 第3体育室	帯広の森体育館 会議室	帯広の森 アイスアリーナ
関係者	役員、選手全員 監督、コーチ	各チーム監督	ブロック代表 連盟等関係者	関係者

(2) 大会日程

時間 期日	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
1月23日(水)						○自由練習（帯広の森メイン・第二） 12:00~20:00							
1月24日(木)	○公式練習 8:00~12:00				移 動	受 付	開 会 式	監 督 会 議	○公式練習 16:00~20:00				
1月25日(金)	○1回戦（8試合） 競技開始 9:00												
1月26日(土)	○2回戦（4試合）・準決勝（2試合） 競技開始 9:00												
1月27日(日)	○第3位決定戦 競技開始9:00 ○3・4位表彰式 (試合終了後 11:00予定)							○決勝戦 競技開始12:00 ○閉会式 (試合終了後 14:00予定)					

- ※23日(水)の自由練習は大会実行委員会に事前申し込みが必要。(リンク代は自己負担)
自由練習申込書は大会ホームページからダウンロードして使用すること。練習希望時間が重複した場合は、大会実行委員会の抽選により割り当てる。
- ※24日(木)の公式練習時間は、大会実行委員会で割り当てる。
- ※自由練習、公式練習のタイムテーブルは決定次第、大会ホームページで公表する。

15 大会参加申し込み

(1) 申し込み方法

- ア 本大会の規程により、参加資格を有するチームは所定の出場承諾書に校長の承諾を得て、所属する都道府県中体連会長に提出する。
- イ 参加申込書の提出を受けた中体連会長は署名捺印し、所定の期日までに申込先に送付する。
- ウ 申し込みの際は、別紙「大会参加申込要項」を熟読の上、下記大会実行委員会事務局宛に送付する。
- ※ 大会参加チームは、参加申込書等の郵送と同時に、参加申込書と参加校(チーム)資料、及び自由練習申込書の文書データ、プログラム掲載用集合写真(ユニフォーム着用)とファースト・セカンドユニフォームの写真を大会実行委員会事務局にデータで送信すること。(合計10メガバイト以内)

【申込期日】平成30年12月28日(金) 文書・データ発送×切り

【申込先・大会実行委員会事務局】

〒082-0056 北海道河西郡芽室町東6条南3丁目1番地
芽室町立芽室中学校内
平成30年度全国中学校体育大会
第39回全国中学校アイスホッケー大会 実行委員会事務局 宛
(担当：平野 聖也)
TEL 0155-62-2001 FAX 0155-62-2988 事務局携帯 080-2871-3902
E-mail tec10@memuro-jh.memuro.net

(2) 大会参加料、滑走料の納入について

大会参加料3,000円、滑走料2,000円を参加申込書に記載された登録選手人数分、下記口座に納入すること。尚、振込時は学校(チーム)名で振り込むこと。

【振込締切】平成31年1月9日(水)

【振込先】

金融機関名 : 帯広信用金庫 つつじが丘支店
店番号 : 034 口座番号 : 0203856
口座名 : 全国中学校アイスホッケー大会 実行委員長 川口 久(カワグチ ヒサシ)

16 宿泊・弁当等の申し込みについて(航空機・貸切バス・タクシー・レンタカーは除く)

宿泊については別紙「宿泊・弁当・運送取扱要項」による。適切な危機管理対応(感染症・自然災害等)を確保するため、必ず、大会実行委員会指定の業者を通して申し込むこと。(指定外の宿泊施設の利用は、原則として認めない)申し込みは直接、下記取扱業者宛に申し込むこと。

【申込締切】平成30年12月28日(金) 17:00必着

【申込先】

〒080-0010 北海道帯広市大通南8-19 帯広連鎖店ビル1階
(株)日本旅行北海道 帯広支店 第39回全国中学校アイスホッケー大会 宿泊センター 係
担当：藤島 智
TEL 0155-23-9294 FAX 0155-21-1980

17 その他

- (1) 大会期間中の負傷・疾病については、応急処置のみ行う。また、本大会は独立行政法人日本スポーツ振興センター法を適用する。なお、参加者は健康保険証を持参することが望ましい。(健康保険証がない場合は保険医療が受けられない場合がある)
- (2) 諸事情により参加できなくなった場合は、その旨を速やかに大会実行委員会事務局に連絡すること。
- (3) トーナメントの組み合わせは、主催団体の責任抽選とし、大会実行委員会事務局が行う。組み合わせ結果は、平成31年1月5日(土)までに大会ホームページで公表する。
- (4) 参加申し込みで記入漏れや違反があった場合は、大会本部にて判断し出場を取り消すこともある。
- (5) 大会プログラムの無償配布は、各学校(チーム)3部とする。
- (6) アイスホッケー競技で各都道府県またはブロック内の予選会で順位決定を行った場合は、必ず申し込み時にその順位を記入して申し込むこと。
- (7) 大会ホームページアドレス、及び、大会期間中間合せ連絡先

[ホームページアドレス] <http://tokachi.jp.moon.bindcloud.jp/index.html>
[大会期間中間合せ連絡先] 事務局携帯 080-2871-3902